



第4部

障害福祉サービス

1 訪問系サービス

訪問系サービスの充実を図り、必要な訪問系サービスを保障します。訪問系サービスとは、次の5つのサービスをいいます。

居宅介護 障害のある人が居宅において、入浴、排せつおよび食事等の介護、調理、洗濯および掃除等の家事ならびに生活等に関する相談および助言その他の生活全般にわたる援助を受けるサービスです。

重度訪問介護 重度の肢体不自由・知的障害・精神障害のため常時介護を必要とする人が、居宅において長時間にわたる介護と移動中の介護を総合的に受けられるサービスです。

同行援護 視覚障害により、移動に著しい困難がある障害のある人の外出時に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排せつ、食事の介護など必要な援助を行うサービスです。

行動援護 自己判断力が制限されている人（自閉症、てんかん等の重度の知的障害のある人又は統合失調症等の重度の精神に障害のある人であって、危険回避ができない、自傷、異食、徘徊等の行動障害に対する援護を必要とする人）が行動する際の危険を回避するための援護をいいます。移動の場合も利用できます。

重度障害者等包括支援 常時介護を要する障害のある人であって、その介護の必要の程度が著しく高い人が、サービス利用計画に基づき、居宅介護等の複数のサービスを受けることができるとともに、緊急のニーズにも臨機応変にサービスを受けられる仕組みです。報酬は、サービスの種類等にかかわらず、一定額を支払うもので、各種サービスの単価設定や利用サービスの種類や量は自由に設定できます。この事業を行う事業者は、ケアマネジメント機能、24時間の連絡・対応体制、必要なサービスを十分提供できる体制といった要件を満たさなくてはなりません。

① 第3期計画と実績

居宅介護は、利用者数、利用延時間数とも計画を下回って推移しています。重度訪問介護の利用者数は計画と実績（見込み）がほぼ一致していますが、利用延時間数は計画を下回っています。同行援護は、利用者数、利用延時間数とも計画を上回って推移しています。

平成26年度（見込み）においては、居宅介護利用者は218人、1人1月あたり利用時間数は18.3時間、重度訪問介護利用者数は17人、1人1月あたり利用時間数は197.8時間、同行援護利用者は28人、1人1月あたり利用時間数は9.9時間となっています。

表 4-1 訪問系サービスの第3期計画と実績

区 分			平成24年度		平成25年度		平成26年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	見込み
利 用 者 数 (人) 利用延時間数 (時間/月)			234 7,786	207 6,462	259 8,632	235 7,095	282 9,270	266 7,628
内 訳	居宅介護	利 用 者 数 (人)	205	169	225	193	245	218
		利用延時間数 (時間/月)	4,370	3,031	4,860	3,527	5,350	3,983
	重度訪問 介護	利 用 者 数 (人)	16	15	17	16	17	17
		利用延時間数 (時間/月)	3,300	3,251	3,600	3,318	3,700	3,362
同行援護	利 用 者 数 (人)	12	22	14	25	15	28	
	利用延時間数 (時間/月)	96	172	112	247	120	277	
行動援護	利 用 者 数 (人)	1	1	3	1	5	3	
	利用延時間数 (時間/月)	20	8	60	3	100	6	

② 見込量

重度訪問介護以外の訪問系サービスの見込量は、平成24年度から平成26年度の利用実績を参考に次のとおりとしました。重度訪問介護については、サービス利用対象者が拡大されたことを加味して設定しました。

表 4-2 訪問系サービスの見込量

区 分			平成27年度	平成28年度	平成29年度
利 用 者 数 (人) 利用延時間数 (時間/月)			295 8,249	322 8,903	349 9,557
内 訳	居宅介護	利 用 者 数 (人)	242	266	290
		利用延時間数 (時間/月)	4,429	4,868	5,307
	重度訪問 介護	利 用 者 数 (人)	18	19	20
		利用延時間数 (時間/月)	3,510	3,705	3,900
同行援護	利 用 者 数 (人)	30	32	34	
	利用延時間数 (時間/月)	300	320	340	
行動援護	利 用 者 数 (人)	5	5	5	
	利用延時間数 (時間/月)	10	10	10	

③ 見込量の確保策

平成26年4月現在、市内の訪問系サービス指定事業者は、居宅介護・重度訪問介護が36か所、同行援護が13か所あり、行動援護および重度障害者等包括支援はありません。居宅介護・重度訪問介護については、今後も介護保険の訪問介護も視野に入れながら参入する事業者が見込めることから、見込量の確保はできると考えられます。同行援護および行動援護については、その事業所の確保に努めます。

2 日中活動系サービス

利用者のニーズに応じて、日中活動系サービス（生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、療養介護および短期入所で提供されるサービス）の確保とサービスの向上に努めます。

(1) 生活介護

生活介護とは、常時介護を要する障害支援区分が一定以上の障害のある人が、主として昼間において、障害者支援施設やデイサービスセンターで、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供等を受ける事業です。このサービスは、施設入所者も利用できます。

① 第3期計画と実績

第3期計画期間の利用者数、平成25年度および平成26年度の利用延日数は、実績が計画を上回って推移しています。

表4-3 生活介護の第3期計画と実績

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
利用者数（人）	742	764	747	774	755	784
利用延日数（日／月）	14,098	14,087	14,193	14,682	14,345	14,871

② サービス提供事業所

平成25年度に障害のある人が利用した生活介護提供事業所は市内に26か所、市外に46か所あり、基準該当事業所が市内に23か所あります。平成25年度は、利用日数の83.8%を市内事業所が提供しています。市外施設利用者が多いのは、生活介護は施設入所者の多くが受けるサービスであり、市外施設の入所者分が計上されているからです。基準該当事業所は、富山型デイサービス実施事業所です。平成25年度の月平均利用者は827人、1年間の平均利用日数は214.3日です。

表 4-4 生活介護事業所別利用状況（平成25年度分）

区 分		障害の種類	定員	利用日数	月平均利用者数
市 内 指 定 事 業 所	あかりハウス	身体・知的	6人	1,285日	6人
	障害者支援施設あざみ園	知的	60	12,637	51
	あゆみの郷	身体・知的	10	2,004	15
	うさか寮	知的	40	6,058	26
	高志ライフケアホーム	身体	90	10,017	38
	高志ワークホーム	身体	34	2,892	12
	秋桜の里	知的	20	4,534	17
	障害者支援施設こだまの丘	知的	50	6,207	26
	富山市生活介護事業所第1あすなる	知的	40	} 12,495	57
	富山市生活介護事業所第2あすなる	知的	20		
	小さな幸せの家	身体・知的・精神	20	2,715	22
	つくしの家	身体	20	2,401	20
	富山市婦中生生活介護事業所	知的	30	5,721	25
	独立行政法人国立病院機構富山病院	身体・知的	5	438	6
	障害者支援施設のぞみの丘	知的	60	6,507	28
	野積園	知的	60	11,213	42
	障害者支援施設はるかぜの丘	知的	60	11,220	47
	ひまわりの郷	知的	18	5,376	21
	障害者支援施設ほほえみの丘	知的	80	5,624	24
	富山福祉生協ぼらハートのいえ	身体・知的	10	2,677	19
	デイサービスセンターまる〜な	身体・知的	20	765	10
	障害福祉サービス事業所萌黄	知的	20	4,283	19
	生活介護事業所ウォーム・ワークやぶなみ	知的	40	4,482	17
障害者支援施設やまびこの丘	知的	50	6,656	28	
生活介護施設ラッコハウス	身体・知的・精神	20	4,087	19	
障害者支援施設わかくさの丘	身体	70	8,913	39	
基 準 該 当	このゆびとーまれ	身体・知的・精神	18	877	9
	しおんの家	身体・知的・精神	10	102	2
	デイケアハウスにぎやか	身体・知的・精神	18	1,424	10
	デイサービスありがた家	身体・知的・精神	10	65	1
	デイサービスこのゆびとーまれ向い	身体・知的・精神	10	1,280	9
	デイサービスこのゆびとーまれ茶屋	身体・知的・精神	15	896	9
	デイサービスセンター1・2の3	身体・精神	44	121	2
	デイサービスセンターおらとこ	身体・知的・精神	18	24	1
	デイサービスまめの木	身体・知的・精神	20	213	3
	デイサービスよらんまいけ	身体	10	48	1
	デイサービス花いちご	身体・精神	14	263	4
	ひより	身体	14	10	0
	ふるさとのあかり	身体・知的・精神	27	577	5
	喜寿苑デイサービスセンター	身体	30	151	2
	椿寿荘デイサービスセンター	身体	30	129	2
	まいど家	身体・知的・精神	10	353	4
	デイサービスながつき	身体・精神	16	252	1
	富山型デイサービス赤とんぼ	身体・知的・精神	10	276	1
	デイサービス花みずき番館	身体・知的	10	117	2
	デイサービス花みずき	身体・知的	25	9	0
	なごなるの家	身体・知的・精神	15	20	1
	デイサービスしあわせ	身体・知的・精神	10	36	1
	ふるさとのあかり八町	身体・知的・精神	14	10	0
市外指定事業所（26か所）				22,917	102
県外指定事業所（20か所）				5,827	23
合 計				177,204	827

③ 見込量

生活介護の利用者数は、第3期計画期間の実績をもとに推計しました。利用延日数は、月19日としました。

表4-5 生活介護の見込量

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数（人）	795	803	811
利用延日数（日／月）	15,105	15,257	15,409

④ 見込量の確保策

現状の事業者によりサービスは確保できると考えられます。

(2) 自立訓練（機能訓練）

自立訓練（機能訓練）とは、病院を退院し、身体的リハビリテーションの継続や社会的リハビリテーションの実施が必要な身体に障害のある人や、特別支援学校を卒業し、社会的リハビリテーションの実施が必要な身体に障害のある人が、地域生活を営む上で必要な身体機能の維持・回復等のための訓練を受ける事業です。自立訓練（機能訓練）は、利用期限が1年6か月と定められており、効果的にサービスを提供するため、利用者の状況に応じ、通所と訪問を組み合わせ、段階的に実施するとともに、必要に応じ、入所施設を利用してもよいとされています。

① 第3期計画と実績

自立訓練（機能訓練）は、利用者数、利用延日数とも計画をかなり下回って推移しています。

表4-6 自立訓練（機能訓練）の第3期計画と実績

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
利用者数（人）	23	18	24	11	25	20
利用延日数（日／月）	460	352	480	199	500	360

② サービス提供事業所

平成26年4月現在、市内の自立訓練（機能訓練）提供事業所は高志サポートホームだけですが、多くの富山型デイサービス事業所が基準該当事業所となっています。

表 4-7 自立訓練（機能訓練）事業所別利用状況（平成25年度分）

区 分		定 員	利用日数	月平均利用者数
市内指定事業所	高志サポートホーム	40人	2,976日	12人
基 準 該 当	デイケアハウスにぎやか	18	18	1
	デイサービスセンターまる一な	20	147	2
	まいど家	10	24	1
	ライフ・ハウスかりゆし	15	10	1
合 計			3,175	17

③ 見込量

自立訓練（機能訓練）の利用者数は、第3期計画期間の実績および特別支援学校高等部在籍生徒数などにより推計し、利用延日数は、月19日としました。

表 4-8 自立訓練（機能訓練）の見込量

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数（人）	25	26	27
利用延日数（日／月）	475	494	513

④ 見込量の確保策

市内の自立訓練（機能訓練）提供事業所および基準該当事業所により見込量は確保できると考えられます。

(3) 自立訓練（生活訓練）

自立訓練（生活訓練）とは、病院や施設を退院・退所した人や、特別支援学校を卒業した人のうち、社会的リハビリテーションの実施が必要な知的障害のある人・精神に障害のある人が、地域生活を営む上で必要な生活能力の維持・向上等のための訓練を受ける事業です。自立訓練（生活訓練）は、利用期限が2年間（長期間入院者等は3年間）と定められており、効果的にサービスを提供するため、利用者の状況に応じ、通所と訪問を組み合わせ、段階的に実施するとともに、必要に応じ、入所施設を利用してもよいとされています。

① 第3期計画と実績

自立訓練（生活訓練）の第3期計画期間中は、利用者数および利用延日数とも計画を上回って推移しています。

表4-9 自立訓練（生活訓練）の第3期計画と実績

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
利用者数（人）	50	51	53	59	56	69
利用延日数（日／月）	600	651	636	742	672	874

② サービス提供事業所

平成26年4月現在、市内には3か所の自立訓練（生活訓練）提供事業所があり、多くの富山型デイサービス事業所が基準該当事業所となっています。

表4-10 自立訓練（生活訓練）事業所別利用状況（平成25年度分）

区 分		障害の種類	定員	利用日数	月平均利用者数
市内指定事業所	障害福祉サービス事業所萌黄	知的	10人	2,202日	10人
	ゆりの木の里自立訓練（生活訓練）事業所	精神	18	1,933	14
	高志ワークホーム	知的・精神	6	53	1
基準該当	このゆびと〜まれ	身体・知的・精神	18	125	1
	デイケアハウスにぎやか	身体・知的・精神	18	227	2
	デイサービスありがた家	身体・知的・精神	10	125	3
	デイサービスこのゆびと〜まれ向い	身体・知的・精神	10	171	2
	デイサービスセンター1・2の3	身体・精神	44	54	2
	デイサービスセンターおらとこ	身体・知的・精神	18	49	1
	デイサービスセンターまめの木	身体・知的・精神	20	308	2
	デイサービスセンターまる一な	知的・精神	20	5	1
	ふるさとのあかり	身体・知的・精神	27	690	5
	まいど家	身体・知的・精神	10	361	3
ふるさとのあかり八町	知的・精神	14	113	1	
市外指定事業所（5か所）				2,316	15
合 計				8,732	63

③ 見込量

入所施設からの地域生活移行者、精神科病院退院者および特別支援学校卒業者が対象となる自立訓練（生活訓練）の見込量は、表4-11のとおりとします。

表4-11 自立訓練（生活訓練）の見込量

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数（人）	78	87	96
利用延日数（日／月）	975	1,088	1,200

④ 見込量の確保策

市内の自立訓練（生活訓練）提供事業所および基準該当事業所により見込量は確保できると考えられます。

(4) 就労移行支援

就労移行支援とは、就労を希望する障害のある人に、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識および能力の向上のために必要な訓練等を行う事業です。就労移行支援利用期間は一般型が2年間、あん摩マッサージ指圧師、はり師又はきゅう師の資格取得を目的とする場合は3年間又は5年間とされています。

① 第3期計画と実績

平成24年度以外の就労移行支援は、利用者数、利用延日数とも計画を上回っています。

表4-12 就労移行支援の第3期計画と実績

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
利用者数（人）	57	42	68	71	79	80
利用延日数（日／月）	969	777	1,156	1,259	1,343	1,480

② サービス提供事業所

平成25年度は、市内の10事業所および市外の5事業所を月平均56人が利用しており、1人あたり月平均利用日数は18.7日となっています。なお、市内の10事業所は、すべて一般型です。

表4-13 就労移行支援（一般型）事業所別利用状況（平成25年度分）

区 分		障害の種類	定員	利用日数	月平均利用者数
市内指定事業所	高志ワークセンター	身体・知的・精神	6人	133日	1人
	就労移行支援事業所作業センターふじなみ	知的	15	625	2
	やねのうえのガチョウ	知的	6	855	3
	地域共働作業所報恩の家	身体・知的・精神	6	151	1
	フィールド・ラベンダー	精神	6	461	2
	ゆりの木の里多機能型就労支援事業所	精神	15	1,328	7
	就労移行支援事業所あおぞら	知的	20	2,573	12
	ひまわり	知的・精神	6	2,281	9
	ジョブスクールさくらだに	身体・知的・精神	20	1,108	5
	多機能型施設ジョブステーションさくら	身体・知的・精神	25	2,257	10
市外指定事業所（3か所）				782	4
県外指定事業所（2か所）				44	0
合 計				12,598	56

③ 見込量

国の基本指針においては、平成29年度中に一般就労に移行する人を平成24年度実績の2倍以上にするとしており、本市の福祉施設の利用者、特別支援学校高等部卒業者、精神科病院退院者等を勘案して、表4-14のとおりとしました。

表4-14 就労移行支援の見込量

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数（人）	92	103	114
利用延日数（日／月）	1,720	1,926	2,138

④ 見込量の確保策

市内の就労移行支援提供事業所により、見込量は確保できると考えられます。

(5) 就労継続支援（A型）

通常の事業所に雇用されることが困難な障害のある人に、雇用契約等に基づき就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識および能力の

向上のために必要な訓練等を行う事業です。

① 第3期計画と実績

この3年間に多くの事業所が就労継続支援（A型）に参入したため、就労継続支援（A型）の実績は、計画を大きく上回って推移しています。

表4-15 就労継続支援（A型）の第3期計画と実績

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
利用者数（人）	58	187	84	289	111	305
利用延日数（日／月）	1,160	3,474	1,680	5,478	2,220	5,702

② サービス提供事業所

平成23年4月の市内の就労継続支援（A型）提供事業所は3か所でしたが、平成25年度に利用した市内の事業所は15か所となっています。平成25年度の就労継続支援（A型）の月平均利用者は249人であり、1人あたり月平均利用日数は19.4日でした。

表4-16 就労継続支援（A型）事業所別利用状況（平成25年度分）

区 分		障害の種類	定員	利用日数	月平均利用者数
市 内 事 業 所	ASTANT	身体・知的・精神	52人	2,371日	12人
	いずみ	身体・知的・精神	20	7,453	31
	オーシャン	身体・知的・精神	20	4,595	19
	オレンジワークス	身体・知的・精神	20	1,305	6
	JOBふたくち	知的	20	2,212	10
	さんらいず	身体・知的・精神	20	3,144	14
	ステップ	身体・知的・精神	20	3,434	16
	つばさ	身体・知的・精神	20	3,728	16
	日本社会福祉デザインセンター	身体・知的・精神	20	2,633	11
	話々	身体・知的・精神	20	7,777	32
	分々	身体・知的・精神	20	138	1
	報恩の家	身体・知的・精神	10	841	3
	ほたる	身体・知的・精神	20	7,169	32
	ゆりの木の里	精神	10	1,842	8
	和々	身体・知的・精神	20	8,901	36
市外事業所（2か所）				386	2
合 計				57,929	249

③ 見込量

見込量は、第3期計画期間の実績、特別支援学校高等部卒業生、精神科病院退院者等を勘案して、表4-17のとおりとしました。

表4-17 就労継続支援（A型）の見込量

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数（人）	433	615	877
利用延日数（日／月）	8,097	11,498	16,327

④ 見込量の確保策

引き続き、民間企業も含めて、新たに就労継続支援（A型）に取り組む事業所の参入の促進に努めます。

(6) 就労継続支援（B型）

通常の事業所に雇用されることが困難な障害のある人に、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識および能力の向上のために必要な訓練等を行う事業です。

① 第3期計画と実績

多くの事業所が就労継続支援（B型）に参入したため、平成25年度および平成26年度の就労継続支援（B型）の利用者数は、計画を上回っています。

表4-18 就労継続支援（B型）の第3期計画と実績

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
利用者数（人）	547	540	564	572	580	663
利用延日数（日／月）	10,174	9,520	10,490	10,095	10,788	11,701

② サービス提供事業所

平成25年度の就労継続支援（B型）利用事業所は、市内に31か所あります。平成25年度は、就労継続支援（B型）を月平均566人が利用し、1人あたりの月平均利用日数は18.1日でした。

表4-19 就労継続支援（B型）事業所別利用状況（平成25年度分）

区 分		障害の種類	定員	利用日数	月平均利用者数
市 内 指 定 事 業 所	高志ワークセンター	身体・知的・精神	34人	5,449日	25日
	ひまわりの郷	知的	12	3,551	14
	ウォーム・ワークやぶなみ	知的	40	6,803	28
	作業センターふじなみ	知的	45	5,783	22
	フレンドリーハウス	知的・精神	40	9,968	38
	やねのうえのガチョウ	知的	30	3,782	14
	報恩の家	身体・知的・精神	24	2,562	11
	フィールド・ラベンダー	精神	30	4,577	25
	ゆりの木の里 多機能型就労支援事業所	精神	15	3,761	20
	ワークハウス連帯	精神	20	1,829	13
	JOB下赤江	知的	20	2,891	14
	JOBにながわ	知的	30	5,105	24
	JOB相生	知的	40	8,377	39
	おわらの里	身体・知的・精神	40	6,489	33
	すずかぜ工房	知的・精神	20	4,026	18
	あすなろセンター	精神	20	2,941	18
	ワン・ファーム・ランド	知的・精神	20	2,965	12
	あさがお	身体・知的・精神	30	4,097	19
	ワークス・さるびあ	身体・知的・精神	20	1,448	6
	れいんぼーめぐり	知的・精神	20	3,588	17
	ゆめさぼーとらいちょう	精神	20	3,141	21
	ひまわり	知的・精神	20	4,327	20
	あかりハウス	身体・知的	17	3,644	16
	どんぐり工房	知的	20	4,395	18
	就労継続支援事業所工房CoCo	知的	20	2,439	10
	きらら	身体・知的・精神	20	2,045	13
	ジョブステーションさくら	身体・知的・精神	10	549	3
	はたらくわ	身体・知的・精神	20	1,897	9
	日本社会福祉デザインセンター	身体・知的・精神	10	162	1
	おらとことん夢工房	身体・知的・精神	20	694	4
	多機能型事業所このみ	知的	20	2,753	12
市外指定事業所（11 箇所）				6,228	30
県外指定事業所（1 箇所）				460	2
合 計				122,726	566

③ 見込量

見込量は、第3期計画の実績を考慮して算出しました。

表4-20 就労継続支援（B型）の見込量

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数（人）	683	703	724
利用延日数（日／月）	12,294	12,654	13,032

④ 見込量の確保策

見込量は確保されると考えられますが、就労継続支援（A型）を含めた就労継続支援事業のバランスを考慮していきます。

(7) 療養介護

療養介護とは、医療を要する障害のある人であって常時介護を要する人が、主として昼間において、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理下における介護および日常生活の世話を医療機関併設の施設で受ける事業です。

① 第3期計画と実績

第3期計画の療養介護利用者数は、ほぼ計画どおりでした。

表4-21 療養介護の第2期計画と実績

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
利用者数（人）	80	81	80	77	80	80

② サービス提供事業所

平成26年4月現在、療養介護提供事業所は市内にはあゆみの郷と国立病院機構富山病院の2か所があり、金沢市の国立病院機構医王病院の利用者もいます。

③ 見込量

療養介護の見込量は、次のとおりです。

表4-22 療養介護の見込量

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数（人）	80	80	80

④ 見込量の確保策

現在の療養介護提供事業所により、見込量を確保できると考えられます。

(8) 短期入所

短期入所とは、居宅において介護を行う人の疾病その他の理由により、施設への短期間の入所を必要とする障害のある人が施設に短期間入所し、入浴、排せつおよび食事の介護等を受ける事業です。

① 第3期計画と実績

利用者数、利用延日数とも実績が計画を上回っています。

表4-23 短期入所の第3期計画と実績

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
利用者数 (人)	60	69	65	79	70	80
利用延日数 (日/月)	240	368	260	383	280	398

② サービス提供事業所

平成26年4月現在、市内には23か所の指定事業所と3か所の基準該当事業所があります。

表4-24 市内の短期入所提供事業所 (平成26年4月現在)

指定事業所

名 称	障害の種類	名 称	障害の種類
高志ライフケアホーム	身体	富山県立高志学園	障害児
ショートステイわかくさの丘	身体	しおんの家	身体・知的・精神・障害児
特別養護老人ホーム喜寿苑	身体	デイケアハウスにぎやか	身体・知的・精神・障害児
ショートステイよらんまいけ	身体	ショートステイこのゆびとーまれ茶屋	身体・知的・精神・障害児
うさか寮	知的	ショートステイふるさとのあかり	身体・知的・障害児
ショートステイのぞみの丘	知的	あゆみの郷	身体・障害児
ショートステイほほえみの丘	知的	ゆりの木の里	精神
ショートステイやまびこの丘	知的	国立病院機構 富山病院	身体・知的・障害児
ショートステイこだまの丘	知的	富山福祉生協ぼらハートのいえ	身体・知的
ショートステイはるかぜの丘	知的	コスモスの里大江干	身体・知的
野積園	知的・障害児		
あざみ園	知的		
小さな幸せの家	身体・知的・精神・障害児		

基準該当事業所

名 称	障害の種類
あっとほーむ婦中	身体
おらとこ東	身体・知的・精神・障害児
射水万葉会 天正寺サポートセンター	身体

③ 見込量

見込量は、平成24年度から平成26年度の利用実績の伸び率を参考に算出しました。

表4-25 短期入所の見込量

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数（人）	85	94	103
利用延日数（日／月）	438	482	530

④ 見込量の確保策

市内の短期入所事業所により、見込量は確保できると考えます。

③ 居住系サービス

地域における障害のある人の居住の場としてのグループホームの充実を図るとともに、自立訓練事業等の推進により、福祉施設の入所または病院の入院から地域生活への移行を進めます。

(1) グループホーム・ケアホーム

グループホームおよびケアホームは、障害のある人が共同生活を行う住宅です。グループホームとケアホームの違いは、グループホーム利用者は介護を要しない人、ケアホーム利用者は介護を要する人となっていることです。グループホームおよびケアホームとも、平日の日中は、日中活動の事業を利用します。なお、平成26年4月1日から、ケアホームのグループホームへの一元化が図られました。

① 第3期計画と実績

グループホーム利用者数の実績は計画を下回っており、ケアホームの利用者数の実績は計画を上回っています。

表4-26 グループホーム・ケアホーム利用者数の第3期計画と実績

単位：人

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
グループホーム利用者数	169	151	179	149	189	165
ケアホーム利用者数	82	91	89	106	97	110

② サービス提供事業所

平成26年3月現在、市内のグループホーム単独のサービス提供事業所は12か所、定員149人であり、本市から100人が入居しており、グループホーム・ケアホーム併設のサービス提供事業所は11か所、定員208人であり、本市からグループホームへ30人、ケアホームへ88人入居しています。このほかに、市外のグループホームに19人、ケアホームに18人入居しています。

第4部 障害福祉サービス

表4-27 グループホーム・ケアホーム事業所別利用状況

単位：人

区分	事業所名	障害の種類	定員	利用者数					
				平成24年3月		平成25年3月		平成26年3月	
				グループ	ケア	グループ	ケア	グループ	ケア
グループホーム	第1けやきホーム	知的	4	3		3		2	
	家路	精神	10	5		4		5	
	つくしん坊	精神	6	4		4		4	
	フレンドリーホーム	知的・精神	30	23		21		20	
	フレンズ	精神	10	6		7		4	
	静和	精神	20	18		18		19	
	さくらホーム	精神	10	7		8		7	
	フィールド・ラベンダー	精神	12	9		9		9	
	風来里	知的・精神	5	2		3		2	
	かがやき	精神	18	16		15		14	
	和敬会生活訓練センター	精神	20	15		13		13	
あかり	知的・精神	4	-		-		1		
小計		149	108		105		100		
グループホーム・ケアホーム併設	セーナー苑グループホーム	知的	39	8	10	6	12	3	14
	ほのか								
	恵風会グループホーム・ケアホーム	知的	25	1	18	3	18	3	18
	ふれんどりーハウス	知的	30	1	19	1	20	-	21
	こころの学校北	知的・精神	26	8	4	6	3	8	3
	こころの学校八尾	知的・精神	16	3	2	3	3	3	3
	ゆりの木の里	精神	13	2	7	2	5	1	8
	梨の木苑	知的	43	8	13	8	13	8	13
	はなみずき弐番館	知的	4	2	-	2	-	2	-
	小さなしあわせの家	身体・知的・精神	4	-	5	-	4	-	5
しおんの家・愛	身体・知的・精神	4	-	1	1	1	1	1	
ハートビート	身体・知的・精神	4	-	2	1	2	1	2	
小計		208	33	81	33	81	30	88	
市外事業所			9	6	10	7	16	14	
県外事業所			3	3	3	3	3	4	
合計		357	153	90	151	91	149	106	

③ 見込量

福祉施設からの移行者、精神科病院退院者をはじめとした新たな入居者等を勘案して、グループホーム入居者の見込量を表4-28のとおりとしました。

表4-28 グループホームの見込量

単位：人

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
グループホーム利用者数	292	310	329

④ 見込量の確保策

平成26年度のグループホーム入居者数の見込みは275人、平成29年度の見込量は329人です。平成26年3月現在、本市のグループホーム・ケアホームの定員は357人ですが、これらには既に他市町村の利用者も入居していると考えられます。

要望の多いグループホームについては、新築・改修に対する国庫補助制度を活用しながら、見込量が確保できるよう努めていきます。

(2) 施設入所支援

施設に入所する障害のある人が、主として夜間において、入浴、排せつ又は食事の介護等を受ける事業です。障害者自立支援法施行前の療護施設、更生施設、授産施設などの入所者が受ける夜間のサービスのことです。平日の日中は、日中活動の事業を利用します。

① 第3期計画と実績

施設入所支援利用者数の実績は、計画より多い人数で推移しています。

表4-29 施設入所支援の第3期計画と実績

単位：人

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
施設入所支援利用者数	464	471	463	470	462	469

② サービス提供事業所

平成26年3月現在、市内の12か所の施設入所支援事業所に388人、市外の事業所に93人が入所しています。

表4-30 施設入所支援事業所別利用内訳（平成26年3月）

単位：人

区分	事業所名	障害の種類	定員	入所者数
市内事業所	障害者支援施設あざみ園	知的	60	51
	うさか寮	知的	51	22
	高志サポートホーム	身体	40	16
	高志ライフケアホーム	身体	90	39
	高志ワークホーム	身体・知的・精神	40	12
	障害者支援施設こだまの丘	知的	50	28
	障害者支援施設のぞみの丘	知的	60	32
	野積園	知的	60	43
	障害者支援施設はるかぜの丘	知的	80	52
	障害者支援施設ほほえみの丘	知的	80	26
	障害者支援施設やまびこの丘	知的	50	31
	障害者支援施設わかくさの丘	身体	60	36
市外事業所（13か所）				61
県外事業所（19か所）				21
合計				470

③ 見込量

国の基本指針を勘案して見込量を定めました。

表4-31 施設入所支援の見込量

単位：人

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
施設入所支援利用者数	461	452	444

④ 見込量の確保策

平成29年度末時点の施設入所支援利用者数は、平成25年度末施設入所者470人から26人（5.5%）減少した444人とします。

4 相談支援

障害のある人の相談支援には、計画相談支援、地域移行支援および地域定着支援があります。計画相談支援は障害福祉サービス等を利用するためのサービス等利用計画の作成および見直し、地域移行支援は入所している障害のある人または入院している精神に障害のある人の地域生活に移行するための相談、地域定着支援は居宅で単身で生活する障害のある人が地域生活を継続していくための各種の支援をすることをいいます。

① 第3期計画と実績

地域定着支援以外は、計画を大きく下回っています。

表4-32 相談支援利用者の第3期計画と実績

単位：人／月

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見込み
計画相談支援	100	37	250	147	400	250
地域移行支援	19	-	19	4	19	7
地域定着支援	25	13	25	23	25	25

② サービス提供事業所

平成26年4月現在、本市の相談支援事業所は、表4-34のとおりです。

③ 見込量

計画相談支援については、障害福祉サービスおよび地域相談支援の利用者数等、地域移行支援については、入所・入院者の地域生活への移行者数等、地域定着支援については、ひとり暮らしの障害のある人の数、地域生活へ移行する障害のある人の数等を勘案して設定しました。

表4-33 相談支援利用者の見込量

単位：人／月

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
計画相談支援	330	420	500
地域移行支援	19	19	19
地域定着支援	25	25	25

④ 見込量の確保策

指定障害福祉サービス事業所および介護保険の居宅介護支援事業所に相談支援事業への取組みを促していきます。

表4-34 相談支援事業所（平成26年4月現在）

名 称	障害の種類	支援の内容
自立生活支援センター富山	身体・知的・精神・障害児	計画相談・地域移行・地域定着
セーナー苑相談支援事業所We ネット	身体・知的・精神	計画相談・地域移行・地域定着
富山市恵光学園	障害児	計画相談
和敬会生活支援センター	身体・知的・精神	計画相談・地域移行・地域定着
フィールド・ラベンダー	精神	計画相談・地域移行・地域定着
ゆりの木の里相談支援事業所	精神	計画相談
あすなろセンター	身体・知的・精神	計画相談・地域移行・地域定着
相談支援事業所アシスト	身体・知的・精神・障害児	計画相談・地域移行・地域定着
恵風会相談支援事業所あざみ	身体・知的・精神	計画相談
ちむぐりさ	身体・知的・精神	計画相談・地域移行・地域定着
相談支援センターみらい	身体・知的・精神・障害児	計画相談・地域移行・地域定着
常願寺地域生活相談支援センター	身体・知的・精神・障害児	計画相談
高志福祉相談センター	身体・知的・精神・障害児	計画相談・地域移行
相談支援事業所けやき	知的	計画相談
フレンドリー相談支援センター	知的・精神	計画相談
ケアセンターわかな	身体・知的・精神・障害児	計画相談